

安心してらせる福祉・医療の基盤整備

【地域医療システムの整備・充実】

2004年度は、循環器呼吸器病センターにおいて、一般病床の増床にあわせて、多様化する患者ニーズに対応するために特別個室の整備などを行いました。また、市町村と医師会などが協力して運営する休日夜間急患診療所や県内14地域で実施する病院群輪番制の運営に対して支援を行いました。

2005年度も引き続き休日夜間急患診療所や小児救急医療にかかる病院群輪番制の運営に対して支援を行います。また、こども医療センターの新棟の整備により、新しい医療ニーズに対応した機能を整備するとともに、患者の療養環境の改善を図ります。
(保健福祉部、病院事業庁)

【保健・医療・福祉を担う人材の確保】

2004年度は、県立保健福祉大学や県立の看護専門学校などにおいて新規人材の養成を図るとともに、看護師や理学療法士などへの修学資金の貸付、人材の定着対策としての看護職員宿舍の整備や院内保育事業への支援を行いました。また、実践教育センターやかながわ福祉人材研修センターなどにおいて現任者教育の充実強化を図るとともに、院内研修への講師派遣などについて支援しました。

2005年度も引き続き、民間の養成機関や病院への支援のほか、訪問看護師の研修や2006年度からの改正介護保険法の施行を踏まえた現任者研修体系づくりなど時代のニーズに即した教育に取り組む、質の高い人材の養成・確保を図ります。
(保健福祉部、県民部)

【生涯を通じた健康づくりの推進】

2004年度は、県民が日常生活圏域の中で質の高いがん医療を受けられる体制づくりのため、県民向けがん予防シンポジウムや地域がん診療拠点病院における医療従事者への研修、がん医療に関する各種情報提供を行いました。また、不妊に関する専門相談センターを開設するとともに、医療保険が適用されない不妊治療の経済的負担を軽減するための助成を行いました。さらに、生涯にわたって健康な歯が維持できるよう、8020運動(歯科保健)の推進としてフッ化物洗口の普及啓発をするとともに、障害児などに対しては、早期からの摂食機能発達の支援として、摂食機能相談事業と講演会を開催しました。

2005年度は、がん医療や不妊治療費の助成などについて引き続き同様の取組みを推進するとともに、地域における禁煙支援の体制づくりや県立がんセンターで先端医療を提供するための医療機器の整備に取り組みます。
(保健福祉部、病院事業庁)

【疾病対策の充実強化】

2004年度は、難病患者が在宅で安心して療養できるよう、新たなネットワークシステムの検討を行いました。また、感染症の予防活動に努めたほか、全国的な監視体制のもとでの患者発生情報などの収集、提供を行うとともに、患者に対する入院医療費の公費負担、感染症指定医療機関への運営費助成などを行い、特に、新たに第一種感染症指定医療機関の指定や感染症・結核予防計画の改正を行いました。

2005年度は、地域で生活する難病患者などを支援するため、かながわ県民センターに難病相談・支援センターを開設し総合的な相談・支援を実施するとともに、県内4つの拠点病院や各地域の協力病院との連携により、難病患者の受入れ支援を行う体制を整備します。また、改正した感染症・結核予防計画に基づき着実に取組みを進めます。
(保健福祉部)

【エイズ対策の総合的推進】

2004年度は、エイズ患者、感染者が増加している中で、県民総ぐるみのエイズに関する総合的な取組みを展開するため、神奈川県エイズ対策推進協議会を開催したほか、相談・検査及び医療体制については、関係団体

及び中心的受入病院などの取組み強化に対する支援を行い充実を図りました。また、民間団体の活動を促進するため、活動拠点の提供やボランティアの育成研修を行いました。

2005年度も引き続き、同様の取組みを進めるとともに、H I V検査の受検者増を図るため、新たに交通至便な場所で休日にH I V即日検査を実施します。(保健福祉部)

【医薬品などの安全確保、適正使用及び献血の推進】

2004年度は、安全な医薬品などの流通を図るため、医薬品製造所の立入り検査や医薬品及びダイエット健康食品など医薬類似品の検査を実施しました。また、医薬関係者間などにおける医薬品適正使用連携体制整備ガイドラインを作成し医薬品の適正使用体制の整備に取り組みました。さらに、献血に対する県民の皆様の理解を深めるためキャンペーンなどにより普及啓発に取り組みました。

2005年度も引き続き、同様の取組みを行います。(保健福祉部)

【共に生き、支え合う社会づくりをめざす地域福祉の推進】

2004年度は、障害者や高齢者などの権利擁護を推進するため、専門相談や福祉サービスの利用援助、福祉サービスに関する苦情解決を行う「かながわ権利擁護相談センター（あしすと）」の運営に対して支援を行いました。また、福祉サービスの第三者評価*を推進するため、中核的な推進組織である「かながわ福祉サービス第三者評価推進機構」の設立及び運営を支援し、評価機関の認証、評価調査者の養成などを推進しました。

2005年度は、成年後見制度の普及事業や障害者や外国籍県民などの社会参加を促進するため、課題解決能力の向上支援などを関係機関との協働により実施します。(保健福祉部)

主な施策・事業体系

【高齢者が安心してくらせる保健福祉の充実】

2004年度は、介護保険制度の定着と適切なサービスの提供を図るとともに、介護保険施設などの着実な整備を進めました。また、高齢者の介護予防などの取組みを推進し、高齢者の社会参加活動への支援を行いました。

2005年度も引き続き、介護保険サービスの適切な提供を図るとともに、介護保険施設などの整備などを通じて、高齢者が安心してくらせる福祉医療の基盤整備を進めてまいります。(保健福祉部)

【身体・知的障害者が地域社会で自立し生活できる環境の整備】

2004年度は、特に待機者が多い施設を中心に入所者の重度化に対応した機能を持った民間障害福祉施設の整備に対し支援を行いました。

2005年度は、自閉症などの特有な発達障害を有する障害児者に対する支援を総合的に行う地域の拠点として、自閉症・発達障害支援センターを設置（県立中井やまゆり園に設置）し運営します。(保健福祉部)

【メンタルヘルス対策と精神障害者が自立し生活できる環境の整備】

2004年度は、在宅精神障害者の一層の自立、社会復帰を促進するため、障害者ケアマネジメント従事者の養成や市町村が行う精神障害者への介護サービスの提供などに対する支援などを行いました。また、一定程度の作業能力のある精神障害者であって、住居の確保が困難な者に対し、実社会の中で家庭的な生活の場を与え、社会参加の促進を図るための施設などの運営に対して支援を行いました。さらに、地域で生活する精神障害者の通所による作業訓練施設などについても、その運営に対し支援しました。

2005年度も引き続き、同様の取組みを行います。(保健福祉部)

【県立社会福祉施設の再整備】

2004年度は、おおいそ学園の入所児童に対する課題別援助を実施するため、現行の2寮体制から3寮体制に向けた生活寮の改修・整備を行うとともに、公教育の実施に伴う校舎棟の改修及び耐震補強工事を行いました。

2005年度は、県立中里学園の児童棟の個室化・ユニット化及び男子寮の耐震補強工事のための基本設計を行います。(保健福祉部)

【福祉のまちづくりの推進】

2004年度は、障害者や高齢者が公共交通機関を自由に利用できるよう、民営鉄道駅舎のエレベーター整備に対し支援を行いました。また、バリアフリーのまちづくり計画の策定に取り組む市町村に対して支援を行いました。

2005年度は、福祉有償運送を適正、円滑に推進するため、運転者や運行管理責任者への研修及び福祉有償運送を実施しているNPO*などに対する相談をNPOなどとの協働により実施します。 (保健福祉部)

【ホームレスの自立支援の促進】

2004年度は、自立支援を検討するためホームレスの就業ニーズの調査、就労を支援するため技能訓練（試行）などを実施しました。

2005年度も引き続き技能訓練（試行）を行うとともに、法律相談事業などを実施し自立への支援を行います。 (保健福祉部)